

交換留学帰国報告書

記入 | 2024 年 3 月
所属 & 学年 | 人文学研究科修士 2 年
卒業予定 | 2025 年 3 月

留学先大学	南京大学
留学先国	中国
留学期間	約 6 ヶ月 (2 年次に留学)
留学開始 - 終了	2023 年 9 月 1 日 - 2024 年 2 月 16 日

A. 留学に至った経緯や留学準備について

① 留学する大学や国、プログラムを決めた理由を教えてください。

東洋史専攻なので、一度は中国史を本場の中国で学んでみたいと考えていました。また、先輩から、中国語を話せるようになるためには、留学するのが一番良いとアドバイスも受けていました。南京大学は、研究室の日本人の先輩が留学に行っていたこと、南京大学からの交換留学生在が私の所属する東洋史研究室に学びにきていたことがきっかけで身近に感じていました。そして、歴史学科であること、日本の中国史研究と深い繋がりがあることがわかり、南京大学を選びました。

② 留学を志したきっかけや経緯、動機などについて教えてください。

学部生の頃は、日本を長期間離れるなんて考えてもいませんでした。大学院生となり、真剣に研究と向き合い、いろいろな方々と交流するうちに、東洋史を学んでいるのに中国語を話せないことや中国に対する理解が無いことを恥ずかしく思うようになりました。

③ 留学前の海外渡航経験があれば教えてください。

渡航先	渡航時の学年	目的 & 期間など
中国 (上海)	学部 2 年	同済大学へ夏季短期留学
中国 (大連)	学部 3 年	大連理工大学へ日中大学学生友好交流大会参加
カンボジア・ベトナム・台湾	学部 4 年	旅行

④ 実際に留学準備を始めたのは応募した時期からどのぐらい前でしたか？

学部生の頃には、自分自身が長期間海外で学ぶことを考えたことがありませんでした。しかし、進学してから出会った多くの大学院生が、海外で学んでいることに刺を受け、修士 2 年の秋学期に留学すること決めました。よって具体的な時期は覚えていませんが、おそらく留学の 1 年ほど前から、どこの大学に行きたいか、そのためには HSK 何級を目指すのか検討していたと思います。

⑤ 海外留学室での相談内容、参考になったことなどを教えてください。

初めは 2 年間しかない修士課程で半年間も留学することに対する不安を相談していました。しかし、コロナの影響でプログラムが変更となり、2022 年秋学期に日本からオンライン授業を受けるか、留学開始を延長して南京へ行けるようになるのを待つかの選択をしな

ければならず、その際に大変お世話になりました。特に1年待つことを決めてから、自分が何をすればいいのかわからなくなった時、先生へVISA申請など状況の報告をしなければという思いがなんとか留学準備のモチベーションを保たせてくれました。

B. 留学前の語学対策や単位などについて

① 留学前の語学対策、TOEFLなどの受験回数などについて教えてください。

HSK5級を一度受験して合格しました。スピーキングは中国語の授業と、長期休みの短期留学、スピーチコンテストの練習で対策しました。リーディングは研究室の演習で古代の漢文から現代の論文までを読んでいたので、そちらを対策の代わりとしました。しかし、「漢字」を読めるという安心感から、日常で使用する単語と拼音の対策を怠ってしまったことを後悔しています。読めるからと「音」で理解することを後回しにすると、現地の人と交流する時や授業を受ける時に困ります。なぜなら、「音」→「理解」ではなく、「音」→「漢字」→「理解」という流れになってしまい、理解までに時間がかかるからです。中国語の学習で初めにすべきことは、まず単語帳を一冊暗記し、拼音をアルファベットで覚え、「音」で意味を理解できるようになることです。

② 単位取得、単位互換、教職履修などに関するアドバイスをお願いします。

- ・最低何単位取らなければならないのか派遣先大学の先生に確認すること。
- ・履修登録が出来たら、必ず1回目の授業の時、先生に単位が必要であることを伝える(単位の必要が無い聴講生だと間違えられてしまうこともあります)。
- ・テスト1ヶ月前には、先生にテストの確認をすること(私の場合は、どのあたりを重点的に勉強したら良いかアドバイスをくれました)。
- ・テストの点数が反映されるまで、定期的にチェックすること(単位が反映されずに半年間放置されてしまった日本人の先輩もいました。)

C. 授業や勉強について

① 留学先で履修した科目と科目コード(例: MKG 2022 Introduction to Marketing)、時間数、形態、授業の内容、履修方法、などについて教えてください。

※1時限は50分+10分の休憩
 ※履修方法は、オリエンテーション内にて案内され、オンラインで登録します。交換留学生は日程的に第二回授業から参加することになります。

02100030A 中国史文(上) 鄒勁風先生
 月曜3,4限
 甲骨文、詩経、左伝等の読解を講義形式で実施。

02210110 隋唐考古張学鋒先生
 木曜3,4限
 隋唐五代の城市、墓等を考古学的観点から講義。

02000100A 中国通史(一) 熊永先生、楊曉春先生
 金曜5.6.7限
 先秦から六朝魏晋南北朝時代までの通史をオムニバス形式で講義。

ほか、毎週木曜午後 2 時から張学鋒先生の研究室にて大学院生の集まりに参加させていただきました。

②授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫を教えてください。

授業中は、話を聞きながらスライドと教科書を読みました。授業スライドは撮影が OK なので、写真を撮っておくと後から復習しやすいです。教科書には、直接書き込みをすることで流れを把握していました。授業後、(スライドを PDF にまとめ、テスト勉強に使用しました。現地の学生と連絡先を交換し、休講や補講情報、過去問の入手を行いました。

③学習面で困ったことはありましたか。どのように解決しましたか。

専門用語の聞き取りが難しく、大変な思いをしました。授業には、とにかく参加することを意識し、不明点は中国人の友達に教えてもらいました。特にテスト前には、カフェで一緒に勉強したり、1 日かけて要点を教えてもらったりしました。また、先生と連絡を取ることでアドバイスをもらいました。

D. 大学生活について教えてください。

①現地の雰囲気や大学の校風について教えてください。

【現地の雰囲気】

南京大学は 4 つキャンパスがあり、それぞれ雰囲気が異なります。先輩が 2018 年に留学した際は鼓楼キャンパスで、私が留学した際には仙林キャンパスでした。鼓楼キャンパスは南京市内で、名古屋駅や栄のような繁華街に位置しています。仙林キャンパスは市内中心部から地下鉄で 40 分ほど、さらに仙林キャンパス駅で降りてから学生寮まで、自転車を使用时 15 分ほどかかります。ちょうど名古屋大学のように、周辺にいくつか大学があるため地域が学生街の様相を呈しています。遊ぶには街まで出る必要があります。周囲は標高 300m 以下の山々に囲まれ、気候は温暖で過ごしやすいです。

【校風】

校風は「謹厳・事実の追求・勤勉・革新」です。中国国内でもトップ 10 に入る優れた大学のため、学生たちは皆真面目です。平日は朝から夜まで授業があり、空いた時間には教室で自習をします。他にも、校内を散歩して紅葉や雪とともに撮影をし、SNS に投稿しているのもよく見かけました。金曜の夜は、近くのショッピングモールへ行き、友達と火鍋を囲んだり、麻雀をしたりしているようです。また運動場でスポーツをする学生も多く、コート予約は毎週取り合いの様相を呈しています。

②ネット環境、施設、周辺環境などハード面について教えてください。

【ネット環境】

・SIM について：

入学時に契約します。三種類あり、本科の留学生向けの 2 年契約のものと、交換留学生向けの短期契約のものです。もう一つ、契約期間を結ばない方法もあるようですが、私はよくわかりません。とりあえず交換留学生は、入学手続きの際に SIM の契約スペースがあるのでそちらでやると良いです。

実は私はこの契約を間違えてしまいました。具体的には、交換留学生の入学手続き前日に南京大学へ行ったところ、大学内の「中国移効」(中国版 SoftBank) で留学生が SIM を購入しているのを発見し、一緒に手続きをしてしまいました。そのため、いざ帰国しようと SIM の契約の一つである「保留」の手続きをしに(「保留」とは、毎月 10 元(200 円)で電話番号を確保できるシステム。次に中国へ行ったときに「保留」を解除すると同じ電話番号を使用できる。)
「中国移効」へ行くと、2 年契約を結んでしまっていることが判明し

ました。この契約は「保留」ができず、電話番号を維持したい場合、2年間は毎月50元（1000円）を払い続けなければならない契約でした。解約したい場合、残りの1年半分の料金を払わないといけないとのことで、悩んだ結果、一旦契約をそのままにすることとし、現在も支付宝の残高から、毎月50元（1000円）が引かれています。

・インターネットについて：

南京大学アプリの「网表充值（インターネット費用のチャージ）」に毎月20元チャージをしておくことによって、大学内と学生寮のWi-Fiを使用し放題になります。有料版Nuwnetのようなもので、初めにログインしてから使用します。何台でも同時接続可能です。初めのうちは毎日ログインしなければならないのが面倒でしたが、「設定」から仕様を変更して、ログインしたままにすることも可能でした。

【施設】

・移動手段：

南京市内は地下鉄、タクシー、シェアサイクルを使いました。地下鉄は支付宝で登録してからQRコードを使用して乗ります。タクシーは「滴滴」を使用しました。行き先を指定すれば、前もって金額が表示されるので安心です。シェアサイクルは「哈」がおすすめです。大学内を含め、中国中どこでも使用できます。私は学生登録をしたので、月額17元ほど（400円くらい）で乗り放題でした。大学内を20～30分に一本のキャンパスバスも走っています（1回0.5元（10円））。始業時間だと満員になることもあるので、私は毎日自転車を使っていました。徒歩だと学生寮から教室まで20分以上かかります。

・学生寮：

南京大学仙林キャンパスには、留学生寮があり、階ごとに男女別です。1階は受付があり、朝から夕方まで常に職員がおり、別に警備員が24時間宿直しているため安心です。1階には他に共用スペースとして、ランドリー、給水場、キッチン、多目的ルーム、卓球室があります。給水場では、水と熱湯が出る機械が飲み水で、熱湯だけが出るのは料理用です。交換留学生は男性が2階、女性が3階です。各部屋2人部屋で、天井が高くエアコンが効きづらいです。電気代は南京大学 app からチャージする方式で、月100（2,000円）ほどでした。基本的には日本人学生と同室です。ベッド、勉強机、洗面スペースが2台ずつあり、トイレとシャワーをルームメイトと共有します。入居時にデポジットとして600元（12,000円）支払います。

退去については、事前に申し入れの上、「全て」部屋のものを捨ててから、受付の人を呼びに行き、部屋の中を確認してもらってから、チェックアウトとなります。この時に入居の際のデポジットが返金されます。

・授業：

学部の授業は名古屋大学と同様、教室にて講義形式で行われます。月曜から金曜まで授業があります。時間割は1～11限まで、1限は8時から、最後の11限は20時半からです。1時限は50分の授業、休み時間は10分、お昼休憩は2時間、夜休憩は30分です。2～3限分同時に行われます。授業が開始してから入室することはできません。授業がなければ、教室は自習室として使用可能です。

・体育館：

体育館を利用するためには、南京大学 App で予約をする必要があります。バドミントンコート予約しようとしたところ、交換留学生はできなかったの、現地の学生にお願いしました。ジムは留学生でも予約可能なようです。体育館内は外履きで大丈夫です。また、「四组团」体育館は小動物も飼われていて憩いの場となっています。南京大学の創立記念

日を名前にした 520 というハムスターは特に可愛いです。インコや金魚もいます。

【周辺環境】

南京大学の杜厦図書館は日本語の蔵書も多く有名です。しかし、留学生は借りられません。どうしても借りたい場合は、海外教育学院で手続きをする必要があります。

南京大学の博物館では定期的に展覧会が開催されます。10 月、張学鋒先生、童岭先生らが監修した「帝陵迷踪」という展覧会を見学しました。南京は東晋の首都であり、皇帝の陵墓が点在しています。そこから出土した遺物を考古学的に調査した展示でした。

・買い物について：

仙林キャンパス内にはスーパーとコンビニがあるので生活必需品は全て揃います。南門を出てすぐの和園にもスーパーや飲食店、カフェがあります。さらに、南門を出て東に行くと「南京万达茂」というショッピングモールがあります。名古屋でいうイオンです。西に行くと「金鷹湖湖濱天地」という百貨店があります。どちらもタクシーが一番便利です。また、中国で特徴的な買い物方法としてネットショッピングがあります。一般的には「淘宝」、本を買いたいときは「当当」が役立ちました。購入後、キャンパス内の「勇園」「菜根譚」へ配達されるので、「菜鸟」App を使用して受け取ります。基本、お店で買うより淘宝の方が安いので、とてもおすすめです。

③ 留学先でどのようにして現地の学生と交流を深めましたか。

私は本科の授業を受けたので、現地学生との交流も多い方でしたが、語学メインの友人は欧米人の友達は出来るものの、中国人と交流する機会が無いと言っていました。元々名大東洋史研究室には南京大学からの交換留学生在いたので、個別に連絡を取っていました。彼の所属する武秀成先生の研究室へ訪問させていただいた時、大阪大学に留学していた女性の先輩とも出会い、その後一緒に観劇する仲になりました。

バディプログラム：交換留學生はバディプログラムで中国人学生のサポートを受けられます。私がペアになったのは日本語学科の子で、入学手続きを手伝ってくれたことに始まり、一緒にご飯を食べ、時にはお散歩をし、仲良くなれました。夜に「相談があるのだけど…」と電話をくれた時には、信頼してくれているんだなあ嬉しくなりました。今でもやりとりが続いており、再来月会う予定です。

日常生活にて：本科の授業や張学鋒先生の研究室では、私が日本人だと知ると多くの学生が声をかけてくれ、テスト勉強のサポートや食事、一緒に旅行するといった思い出ができました。先生方も学生と気軽に微信を交換するので、相談しやすい環境でした。

また、月イチくらいのペースで集まりのある南京日本人会に参加し、そこで南京大学所属の先輩方や先生と交流することができました。

④ 余暇の過ごし方（授業後や長期休暇など）について教えてください。

授業後は、ほぼ毎日現地の学生とご飯を食べに行きました。友人と行くのは、和園や近くのショッピングモールです。火鍋や南京名物、香港料理などを食べました。1人で食べるときや、授業前は食堂へ行きました。

土日は、友人と過ごしました。卓球やバドミントン、サイクリングは良い息抜きになりました。仙林キャンパスは自然豊かで見どころが多く、「香雪海」庭園で景色を見、年末には南雍山の頂上から花火を見ました。南京市内の散策もしました。世界遺産である明の初代皇帝陵、中山陵、美齡宮、玄武湖、南京城壁、鸡鸣寺、南京博物院、六朝博物館、パンダの紅山動物園へ行き、紅葉が有名な栖霞山へも登りました。特に南京博物院は中国三代博物館に数えられています。一度目の南京日本人会の集まりで見学した後、文學院の博士課程の先輩と無錫の伝統劇、錫劇の「東渡紀（鑑真渡日の話）」を見に行きましたので、合わせて

2 回行ったことになります。

市内でご飯を食べるときは、繁華街の「新街口」へ行きました。名古屋栄のように百貨店が並び、飲食店がたくさんあります。南京总统府の 1912 のバーへも行ってみました。人生初のおしゃれなバーで、サイコロゲームなどを教えてもらい楽しみました。

土日には、少し遠出をして、旅行へ行くこともありました。友人と行ったり、1 人で行ったり。ルームメイトと揚州へ行った際には、大明寺の鑑真記念堂、唐城遺址博物館、博物館内の崔致远記念堂が印象に残っています。失明しながらも仏教を伝えるため渡日した鑑真のゆかりの地を訪れることができて良かったです。唐城遺址博物館は専攻と関係するため有益でした。またその博物館内の崔致远記念堂について、崔致远は新羅人で科挙に登第したという、韓国の歴史的有名人です。後に、仲良くなった韓国人の友人が崔致述の子孫であると教えてくれて、驚きました。

12 月ごろ、ドキュメンタリー監督の竹内亮さんの動画に出演し、1 月に公開され、微信にて友人や先生から「見たよ」とメッセージをたくさんいただきました。現地の友人のインターン先とのことで、気軽に尋ねてみただけだったので、反響の大きさに驚きました。その後、クリスマス会に招待していただき、初めて竹内さんがどのような活動をしているのか知りました。東南大学の先生からも竹内さんの本をいただき、竹内さんがコロナウイルスと向き合った人々のドキュメンタリーで网红（ネット上の有名人）になったこと、そして彼らがどのような思いをしてきたのか学びました。中国人と日本人ではコロナに対する政府の対応が違う、だからこそ感じ方も異なる、それを知った上でお互いに配慮しなければなりません。

E. 健康管理、保険、予防接種など

①健康管理あるいは衛生面について注意していたことはありますか。

【健康管理】

食生活に特に気をつけました。中国の油に慣れるまでずっとお腹を壊してしまったので、中国料理を食べる際には、白米や麻婆豆腐、野菜炒めを中心に、とにかく食べられるものをしっかり食べました。

夏の南京は「3 大熱地獄都市」の一つに数えられるほど異常な暑さです。10 月 11 月まで薄着でいられます。ただ、名古屋の夏を知っている人であれば問題ないと思います。問題は真冬です。私は防寒対策として、裏起毛のヒートテックとカイロを使いました。南京の建物は冬の寒さへの対策が不十分であるため、隙間風や雪へ耐性が無く、より一層寒く感じられます。

また、日常生活の中でマスクが求められる場面はありませんでした。

【衛生面】

日本が清潔度 100 だとしたら、中国は 50 くらいです。

トイレは和式の水洗ですが、床が汚いです。対策として厚底の靴を買いました。日本からぺたんこのサンダルを持って行きましたが、中国のトイレでは履けません。

飲食店では、食器がビニールで梱包されていますが、取り出してからお湯で洗うこともあります。机の上に落ちた物は食べられません。

【病気について】

1. 到着後、1 週間で蕁麻疹が出ました。さらに、その日に熱いシャワーを浴びたことで悪化しました。3 日で自然治癒しましたが、痛みで眠れませんでした。原因は、中国料理が口に合わずお腹を壊していたことで、免疫が低下したからではないかと考えています。

2. 12 月頃、膀胱炎になりました。大学内に病院はありますが、恥ずかしくて我慢してしま

いました。原因は、お手洗いが日本のように清潔で無いこと、また生理用ナプキンを節約していたことだと思います。軽度のものは数日で治るとのことでしたが、1週間経っても治らなかったので、中国語が話せる友達に薬局に行ってもらい、症状を説明の上、薬を購入してきてもらいました。服用後、1日で治ったので安心しました。

- ②留学中に病院へ通った経験の有無、医療費などについて教えてください。

病院へは行きませんでした。

- ③留学するにあたって、予防接種は必要でしたか。

はい（種類：）

いいえ

F.住居、食事、マナーなどについて

- ①留学中の滞在先について教えてください。

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 下宿 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
何人部屋	（ 2 ）人

- ②生活（住居、食生活、服装など）や習慣の違い（マナー、対人関係）、安全面などについて、困ったこと、気をつけていたことがあれば教えてください。

【生活】

住居：

入居時に、ルームメイトとは掃除の役割、水光熱費、退去前の手続きについて話し合うこと。退去前、何気なく貼った壁紙を剥がすのが大変でした。

仙林キャンパスは比較的設備が新しく、水道水が綺麗でした。鼓楼キャンパスは水道管が古く、茶色い水だったそうです。飲み水は一階の給水場を使用します。シャワーは一度に出るお湯の量が限られているため、時間をずらすなど工夫が必要です。

また、階が別とはいえ男女同じ棟に住むため、露出の多い服装はやめた方が良いでしょう。友人が実際に共用部分でナンパされ、気まづくなったと話していました。

食生活：朝はお粥や肉まん、昼は麺やチャーハンのようなものが多く、夜は皆で火鍋など外食をするというイメージです。南京は「鴨の血スープ」が有名で、薄味かつレバーの好きな私はよく食べました。仙林キャンパスは比較的田舎にあるので、食事の方法が限られます。まずは食堂です。安くて近いですが、種類が少ないです。マクドナルドやスターバックスもあります。大学内のカフェ3ヶ所ほどありますが、テスト勉強で毎日通いました。しかし、キャンパス内の「Lucking Coffee」という南大生御用達コーヒーショップと比べると、高めです。次に仙林キャンパス駅前の「和園」という学生街です。200メートルほどの道が2本あり、両側にお店が並んでいます。その「和記北京烤鴨店」は北京ダックが美味しく、日本人好みです。また、すき家やマクドナルドもあります。3つ目の手段として、地下鉄やタクシーで周辺のショッピングモールまで行くというものです。私は地下鉄で一区先の「南京万达茂」にあるサイゼリアへよく行きました。中国料理ばかりだと胃への負担が大きく、数日に一度、サイゼリアやマクドナルドへ行きました。

最後は「外卖」、日本語でいう出前です。日本より種類も多く送料が数十円と安いので、多くの学生が利用していました。専用 App で購入後、キャンパス内の指定箇所（仙林キャンパスなら17棟の横など）に宅配業者が配送してくれます。

服装：南京の気候は名古屋とあまり変わりません。夏が暑くて長く、冬は底冷えするけれど東北ほどではないといった感じです。ただ、トイレが清潔ではないので夏も冬も厚底の

靴を履くことをおすすめします。私は秋学期半年間の留学だったので、夏服だけ持っていて、冬は中国のショッピング App の海で 25 元 (500 円) ほどの服を数枚購入し、使い倒して捨ててきました。上着はパーカー 1 枚、アウターは薄手のジャケットとダウンをそれぞれ 100 元 (2,000 円) ほどで購入しました。淘宝は安いですが質は悪いので、破れていたり、ボタンの穴が開いていなかったりします。そのため大学内の服の修理店を利用しました。クリーニングも日本より安い値段でやってくれるようです。

【習慣の違い】

マナー：

食事や日常生活に関しては基本的に日本と同じようにやっていれば大丈夫です。あえて言えば SNS の返信スピードが遅いと無礼だと思われるようです。

特別、日本人として気をつけなければならないのが「歴史認識」でした。12 月 13 日は南京事件の追悼の日として、黙祷を捧げます。この合図の鐘が鳴ったときに、このことを知らない日本人学生が「何の鐘か？」と聞いてしまい、変な空気になったそうです。他にも SNS で、哀悼の意を表する投稿に「日本人として申し訳ない」と返事をした学生が、先生から呼び出され、何も反応をしなくて良いと指導をされたとも聞きました。仲良くなった現地学生に聞いたのですが、「歴史認識」に対してどうすれば良いのか分からないのであれば、その話題には触れず、何らアクションをしないことこそ配慮になるそうです。

私たちは、あくまで日本人として中国にお邪魔しているという気持ちを忘れずに行動したいところです。

対人関係：

現地の学生は皆語学力が高く、積極的に声をかけてくれます。彼らは基本的に日本文化に興味を持ち、尊重してくれるので、怖気付かずにコミュニケーションを取ることをおすすめします。

現地の外国人学生ですが、韓国人が男女ともに日本人と仲良くしてくれると思います。ネイティブ並みの日本語・中国語を話せる学生も多いです。

また、南京日本人会の先輩方はとても親身に寄り添ってくれます。私は初めての長期留学で、思いがけずメンタルが不調になった時、本当にお世話になりました。中国語がネイティブの方もいますので、何かあったらこちらに相談すると良いです。

ルームメイトについて、基本的に同じ地域の学生でシェアすることになります。しかし、日本人学生のうち 1 人だけ外国人のルームメイトでした。生活習慣が合わず喧嘩になったそうです。部屋が空いていたり、話し合っただけで他の部屋の学生と入れ替わるという形なら部屋を交換できるそうです。

【安全面】

南京といえば、南京大虐殺による日本人への悪いイメージが挙げられると思います。友人の経験談によると、地下鉄で日本語を話していたら悪口を言われたり、日本人禁止の飲食店があったとのこと。しかし、私は外で日本語を話すこともなく、中国で買った服を着ていたため、まず外国人だと思われず、このような経験はありませんでした。

外国人差別はありませんでしたが、痴漢と盗難にはあいました。痴漢は南京キャンパス駅構内で男性から顔や体を触られるというもの、盗難はフィールドワークで行った博物館で上着が被害に遭いました。中国の治安は良い方ですが、日本と同じように過ごしてはいけません。

③日本から持参するとよいもの、または持参しなくてもよかったと思うものは何でしょうか。

【持参すると良いもの】

現金、数日分のシャンプー・リンス、220V ドライヤー、スリッパ、バスタオル、タオル数

枚、水筒、キーケース、ハサミやカッター、裁縫道具、日焼け止め、オンライン面接があればスーツの上着、部屋着、iPad、Apple Pencil、充電器、風邪薬、胃腸薬、虫除け、現地学生に渡す日本土産（私は先生用に妙香園のほうじ茶、学生用に和風柄和紙を持って行きました）、

『地球の歩き方 中国』、機内持ち込み用のキャリーバック（中国国内をプチ旅行する際に便利でした）

【持参しなくて良かったもの】

おしゃれな服（洗濯乾燥機を使うので、破れても良い服が良いです。おすすめは淘宝という中国版 Amazon で買うと安いです。）、サンダル、日本語の本

⑤ 参考となる留学先国の情報（出版物、web サイト）を教えてください。

日本語 『地球の歩き方 中国』

中国語 微信（別名 WeChat、中国版 LINE、決済アプリ）、支付宝（決済アプリ）哔哩哔哩（中国版 YouTube）、小红书（中国版 Instagram）、百度（検索エンジン）、高德地图（地図アプリ）

微信と支付宝は必須です。微信は LINE のような連絡を取る手段として用いるだけでなく、電子決済手段や、公共交通機関に乗車する際の QR コード、博物館などの入場予約にも使います。

G. 留学費用について

① 留学費用や支出の管理などに関してアドバイスがあれば教えてください。

必ず現金を持っていくこと。

留学生活を安心して開始するためには、最低でも人民元 100 元、日本円 20 万円ほどは入国時に持参することをおすすめします。

南京禄口空港から手続き会場の鼓楼キャンパスまでは地下鉄で 8 元です。よって 100 元（2,000 円）程度の人民元は空港で換金するか、日本から持っていかしてください。

外貨持ち込みは 5,000 ドル（およそ 70 万円）以内が申告せずに持ち込み可能です。具体的には、入学手続きの SIM 契約・保険、が「人民元のみ」でした。寮費は半年ごとの支払いで、私のような半年間の留学だと 1 ヶ月 600 元（およそ 1 万 2,000 円）×5 カ月=3,000 元（6 万円）を人民元で支払わないと寮に入れません。最低でも、10 万円分の日本円を現金で持っていき、大学近くの銀行で人民元に交換してから、入学手続きに向かいましょう。

また、銀行口座を開設しないと電子決済が使用できません。（※支付宝の Tour card は使用できるので、留学準備として App をダウンロードして入金の手続きをしておいてください。

ただし、大きなスーパーやローソンなどでは使用できましたが、小さなお店では使えません。）入学手続き後、大学と提携している銀行へ行き、口座開設の手続きをしてください。必要なものは中国の携帯電話番号と入学許可証、パスポート、日本のマイナンバーカード（銀行による）です。手続き後、開設まで 1 週間ほどかかります。その間は、支付宝の Tour card 機能が現金で生活する必要があります。また、口座開設後も入金は日本から持ってきた現金で行います。そのため、心配な方は現金を多めに持っていくと良いです。

最後に、口座が開設できたら、微信・支付宝の決済サービスを日本のクレジットカードと紐づけることで、日本の自分の口座から引き落としをすることができます。私は楽天の VISA カードと Paypay の JCB カード をそれぞれ紐付けました。クレジットカードの決済が使えないお店では、銀行口座に入金した残高から引かれます。

キャッシング機能付きのクレジットカードについてですが、友人が人民元を引き出そうとし、数千円おろしたところでセキュリティロックがかかり使用不能になりました。

以上のことから、中国の電子決済サービスは複雑ですので、とりあえず「現金」を多めに持

っていくことをおすすめします。

※2024/03/16 時点、支付宝とクレジットカードを紐づけられるそうです。日本国内で手続きをしておくことができます。紐付けが完了していれば、到着後すぐに地下鉄やタクシーをAppで決済できます。一部の支払いと、友人への送金できませんが、生活で困ることはないと思います。

②奨学金は受給していましたか。

はい (奨学金名: JASSO 支給額: 航空機代+毎月60,000円)

いいえ

③差し支えない範囲で留学費用を教えてください。*内容の費目は自由に変わってください。

内容	金額	備考
渡航費	160,000円	※コロナのため高騰
保険代	65,000円	
ビザ代	8,500円	
住居費	80,000円	寮費+水光熱費+Wi-Fi
食費	180,000円	およそ1000円/日
教科書・図書代	14,000円	
スマホ代	10,000円	
南京大学納入保険代	10,000円	
衣服・化粧品代	40,000円	
交際費	40,000円	日本への土産・誕生日プレゼントなど
現地調査費	200,000円	

H.今後の進路や目標、就職活動について

①卒業後の進路(進学、就職、その他)について教えてください。

進学

就職

その他()

②今後の進路や目標があれば教えてください。また留学の前後で、進路や目標に対しての考え方や気持ちの変化があれば教えてください。

留学する前は、博士後期課程に進学するかどうか迷っていました。しかし、留学中に現地の学生と交流して刺激を受けたこと、また多くの知識を得たことで自信ができました。そのため、現在では迷いなく進学を希望できるようになりました。

博士課程以降のキャリアについては、中国で実際に働いている若手研究者の方々からお話をお聞きしたことで、より多くの選択肢を考えられるようになりました。特に、高い語学レベルがなくとも、ネイティブの教員として働く道があると知ったことが大きな収穫でした。

③留学中に就職活動を行った方は、具体的なエントリー、一時帰国の時期、感想などを教えてください。海外留学生用の就職活動を受けた場合はそれに関する情報もお願いします。

就職活動は行いませんでした。

I. 留学を終えて感じること

① 留学を終えて今の率直な気持ちや感想、印象に残っていることなど教えてください。

留学中、外国人の友達から「どこの国の人も人としては同じ。話すことも考えることも基本同じ。」と言われて驚きました。私は初めての長期海外経験で、中国と日本の違いを感じていたときだったからです。留学を開始した時、ワクワクすると同時に、南京の学生を少し遠くから見つめている気分でした。どこか他人事の気分のツケは2ヶ月、3ヶ月目に、南京に対する拒絶反応として現れました。早く帰りたくて、友達・先輩方にたくさん相談し、いっぱい泣きました。皆さんの優しさの中で、メンタルも次第に回復していき、12月ごろになると、自分が南京に生きる1人の人間として愛着を感じていることに気づきました。さらに、中国の歴史を研究すること、そのことに楽しさを見出せるようになりました。今まではどこか義務感があり、心から楽しめていたわけではありませんでした。これが成長というものなのか。もう少し早く経験できれば…という後悔と、今でなければこのような経験は得られなかったのではないか…という思いがあります。そして、稲畑先生に入れられた「喝」が心にじわじわと効き、行動を起こしてからはあっという間でした。授業、テスト勉強の合間に、先生・先輩の協力のもと、1ヶ月に渡るフィールドワークの計画を立てていきました。

この1月から2月の調査は膨大で、今はそのまとめ作業に追われています。けれど、その作業もとても面白く、細部まで充実させた上で完成させたいとやる気に溢れています。この留学は、たった半年にもかかわらず、一生分の経験をしたと思います。現地で知り合った友達、先輩、先生には本当にお世話になりました。そして、この留学を実現するために尽力してくださった名古屋大学の先生方へ、感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。ありきたりな言葉だとは思いますが、これからもっと頑張っていきたいと思います。

以上が今の私の率直な気持ちです。

② 留学したことで、何がどのように変わったと思いますか。

学業への熱意が生まれました。留学へ行く前、東洋史は好きだけど、何をどのように学べば良いのかわかっていませんでした。しかし、南京大学で中国史を学び、中国の学生にさまざま教えてもらい、実際に歴史書に出てくる地域を訪ねることで、研究するには必要な知識、ネットワーク、イメージが手に入りました。今では、目的意識をもって研究に取り組むことができます。

また、価値観が変わりました。中国と日本は文化が異なることは当然想像していましたが、実際に経験をするとはやはり異なります。中国に対するイメージは大きく変わりました。現地で出来た友人たちの優しさ、おもてなしの心には特に驚かされました。彼らが日本に来たら、私はぜひ恩返しをしたいと思うと同時に、今までの友人にはそれが出来ていなかったことを悔しく思いました。

この留学で得た経験は、良いことも悪いことも私を成長させてくれる人生の財産になったと思います。

③ 現在、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

日本のメディア・SNSは、中国を得体の知れない国のように描かれています。実際に私もそう感じていましたし、家族のうち数名は渡航へ反対でした。しかし、行ってみないと分からない。Googleの検索で見られる情報も、古かったり間違っていたり、ここまで違うのか…と思いました。迷ったら行ってみてください。中国は意外と治安が良いし、食費も新幹線も安いし、自分は自分・他人は他人というはっきりした個人主義なため、開放感を与えてくれます！



南京大学仙林キャンパス

留学概要

- 2023年9月1日～2024年2月16日（117日間）
- 南京大学仙林キャンパス
- 海外教育学院

南京市内 南京大学仙林キャンパス位置



授業

学部生＝語学 院生＝本科（学部）

- 中国歴史文選（上）：鄒勁風先生

甲骨文、詩経、左伝等の読解

- 隋唐考古：張学鋒先生

城市、墓等

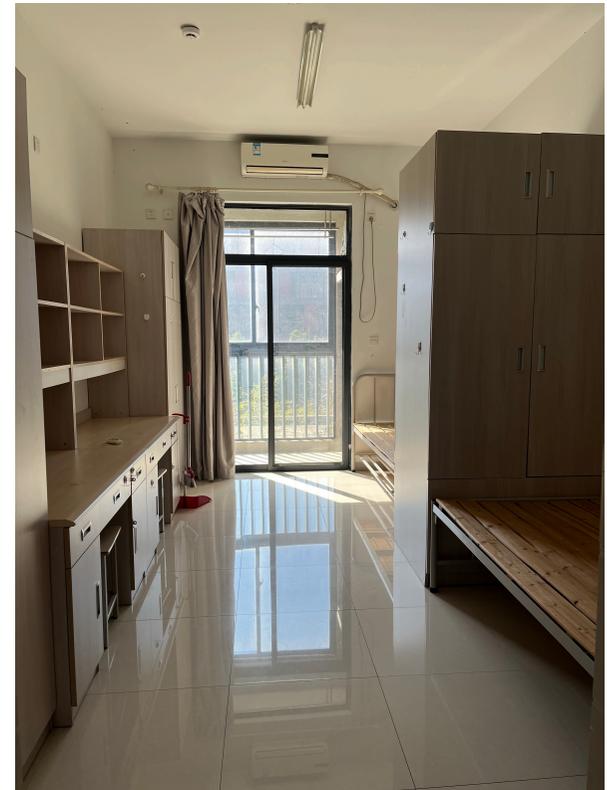
- 中国通史（一）：熊永先生、楊曉春先生

先秦～六朝まで

生活

学生寮

- 留学生寮
- ルームメイトは日本人
- 1ヶ月600元



食事

大学周辺

- 食堂

近・安・種類少

- 和園

近・安・種類少・美味しい

- ショッピングモール

遠・高・種類多



鴨血スープ（食堂）



北京ダック（和園）

友人

- 交換留学生バディプログラム
- 授業
- 留学生寮



バディのクモちゃん



研究

- 研究室訪問：10月10日

武秀成先生の研究室所属の博士課程学生楊くんと王さんに案内をしてもらう

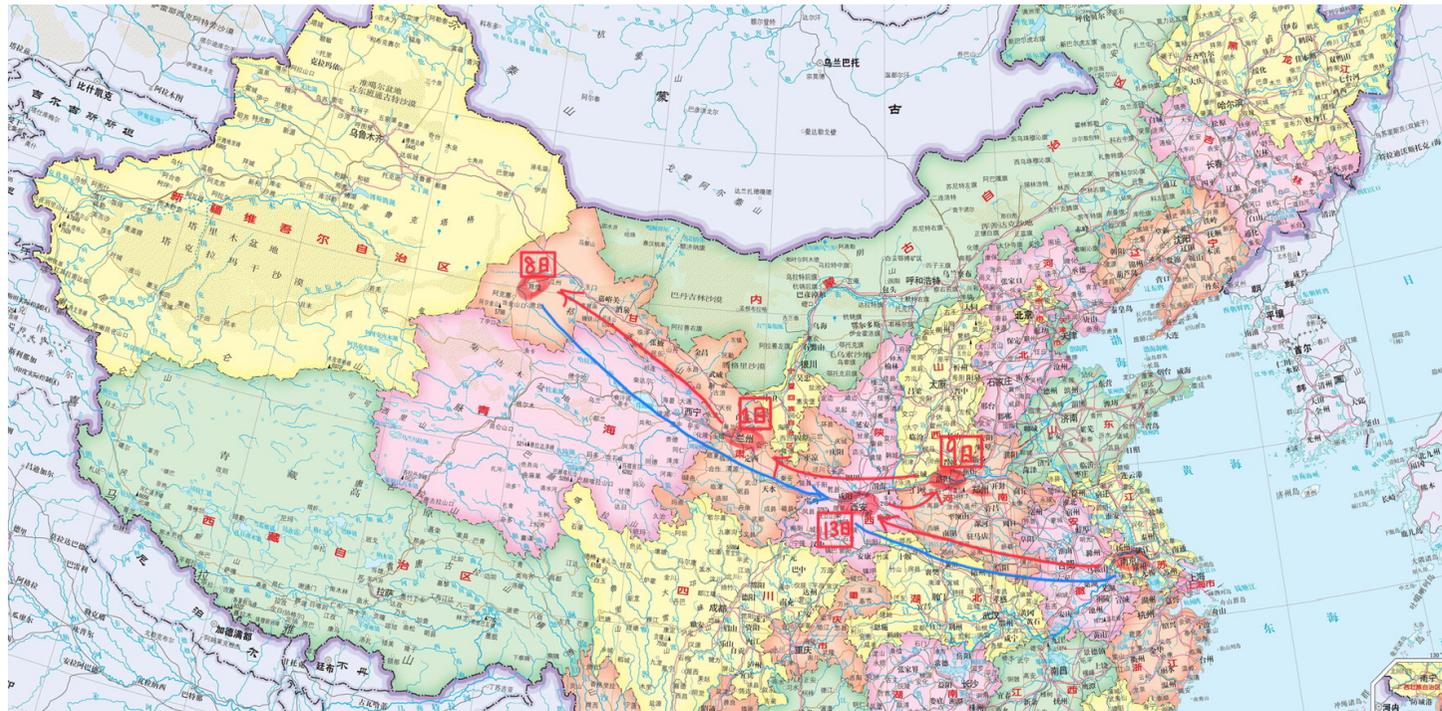
- 張学鋒先生の週一お話会（週一回）

修士・博士課程の学生が張先生の研究室に集まり様々なお話をする

研究

フィールドワーク：唐の道

- 期間：1/10~2/9(1ヶ月)
- メインルート：西安→洛陽→敦煌
- 内容：博物館、名所、先生や先輩訪問



準備

- きっかけ：稲畑耕一郎先生のアドバイス
- 張学鋒先生、小野響先生より洛陽、西安の先生・先輩を紹介していただく
- 交換留学延長の手続き

西安

1/10~1/22(13日)

- 西安城壁（現存するものは明代）
- 兵馬俑
- 鼓楼・鐘楼
- 陝西歴史博物館
- 大明宮

西安博物館

1/19

- 西安博物館 王璐さんとともに（他学生1名）



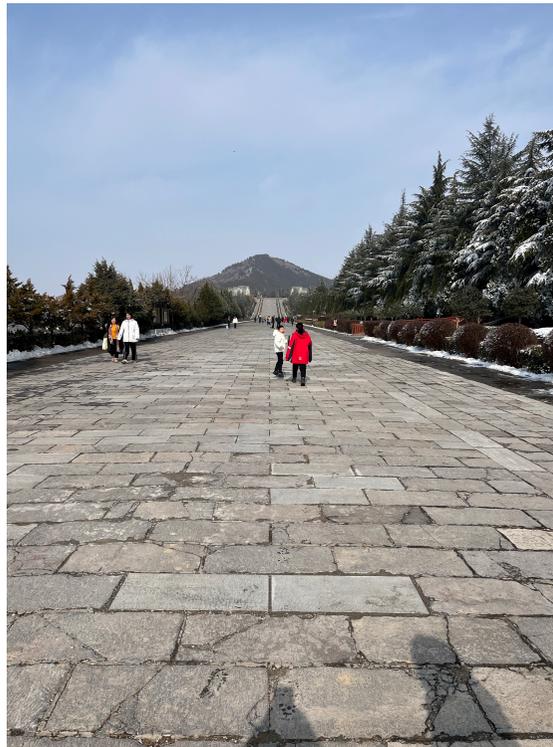
王さん担当の展示エリア



乾陵

1/20

- 岡田和一郎先生とともに（他学生1名）
- 有名な壁画は陝西歴史博物館



洛陽

1/18

- 李航先生と龍門石窟へ（他学生2名）
- 龍門石窟博物館、白居易墓



洛陽

1/23~1/31

- 南京大学先輩 崔浩軒さんに案内いただく
- 洛陽博物館、白馬寺、千唐詩齋、大運河博物館
- 漢魏洛陽城



敦煌

2/2~2/9

- 莫高窟
- 鳴沙山
- 陽關・玉門關
- 陽鎖城
- 漢代長城
- 西晉墓

